

2025年9月26日

## 美建工業株式会社に対する 「〈ひろぎん〉SX ネクストローン」の実行について

株式会社広島銀行（頭取 清宗 一男）では、美建工業株式会社（本社：広島県福山市、代表取締役 高田 浩平）に対して「〈ひろぎん〉SX ネクストローン」を実行しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

### 1. 案件概要 「〈ひろぎん〉SX ネクストローン」の概要は【別紙 1】をご参照ください

融資実行日	2025年9月26日
融資金額	1億円
融資期間	5年
目標	温室効果ガス排出量
その他	ひろぎんエリアデザイン株式会社から〈ひろぎん〉SX ネクストローンにかかる評価書【別紙 2】を取得しております。

### 2. 企業概要

会社名	美建工業株式会社
所在地	広島県福山市駅家町大字近田 30 番地
代表取締役	高田 浩平
業種	生コン・セメント製品の製造販売業
事業内容等	生コン・各種コンクリート二次製品の製造・販売業者として、広島県と島根県に 6 箇所の営業拠点と 7 箇所の工場を展開しています。広島県内ではトップクラスのコンクリートメーカーとして、環境に配慮した製品も含め、お客様の多様なニーズに幅広く対応しています。 また、気候変動への対応にさらなる実効性を持たせるために、2030 年までの温室効果ガス排出削減目標を設定し、2024 年 11 月に国際的な環境団体「SBT イニシアチブ」による認定を取得しました。 企業方針に「美しい社会環境の建設に貢献し世の中を幸せにする」を掲げており、今後も環境問題や働き方改革等に積極的に取り組み、地域社会・地元経済の活性化に貢献してまいります。

以上



広島銀行では、SDGs への取り組みを強化しております。

【SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標】  
2015 年 9 月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての 2030 年までの世界共通目標。持続可能な開発のための 17 の目標と 169 のターゲットで構成。

### 本件に関するお問い合わせ先

株式会社広島銀行  
営業企画部 法人企画室  
TEL (082) 247-5151 (代表)

## 「〈ひろぎん〉SX ネクストローン」について

## ○特長

- ・地元企業のサステナビリティ向上に寄り添い、地域のサステナビリティ向上に資する取組みについて、資金面からご支援します。
- ・お客さまと地域のサステナビリティ向上につながる目標を設定していただき、目標達成の場合に金利引き下げを実施します。
- ・対外 PR 支援として、融資実行時に当行よりニュースリリースを行い、サステナビリティへの取組みの対外公表をご支援します。

## ○商品概要

対象となる方	以下のすべてを満たす法人のお客さま ・自社と地域のサステナビリティ向上に資する目標を設定※ ・年 1 回のレポートの実施（お客さまから銀行への報告） ※設定目標には、ひろぎんエリアデザインによる評価を実施
お使いみち	運転資金・設備資金
ご融資金額	当行所定の金額
ご融資期間	2 年以上（固定金利は 10 年以内）
ご融資利率	当行所定の金利（目標達成の場合、金利引下げを実施）
ご融資形式	証書貸付・当座貸越
ご返済方法	当行所定の審査によります
担保・保証人	
取扱手数料	組成難易度に応じてスキーム構築手数料が必要となります

- ・SX とは、Sustainability Transformation の略で、企業がサステナビリティ（持続可能性）を重視した経営方針に転換することです。
- ・本商品は環境省等が定めるガイドラインに適合する SLL（サステナビリティ・リンク・ローン）ではございません。

# 〈ひろぎん〉SXネクストローンにかかる評価書【別紙2】

## 美建工業株式会社 〈ひろぎん〉SXネクストローン

発行日：2025年9月26日  
発行者：ひろぎんエリアデザイン株式会社

本文書は、株式会社広島銀行(以下、「貸付人」という)と美建工業株式会社(以下、「借入人」という)の間の〈ひろぎん〉SXネクストローン(以下、「本ローン」)について、貸付人が、持続可能な地域社会の実現に貢献することを目的とし、地域特性や業種特性を踏まえて独自に設定した評価基準に基づき、借入人のサステナビリティに対する取り組みを評価したものであり、以下にその評価結果を報告する。

## 1. 借入人とサステナビリティ

### (1) 会社概要

借入人は、広島県福山市に所在し、主に道路整備・土木で使用される生コンクリートやコンクリート二次製品（FX側溝、ヒューム管、雨水枳、インターロッキングブロック、積みブロックなど）の製造・販売を手掛ける企業である。広島県および島根県に複数の工場・支店・営業所を展開し、地域インフラを支える存在として、また、再生資源を活用した環境配慮型製品にも注力している。



(資料) 借入人ホームページ・会社案内より抜粋

企業名	美建工業株式会社
代表者	代表取締役 高田 浩平
所在地	広島県福山市駅家町大字近田30番地
設立	1967年1月
資本金	3,000万円
従業員数	220名 (2025年7月時点)
事業内容	建材製品（レディーミクストコンクリート・コンクリート二次製品）製造・販売、及びその他の土木建築用資材の販売
許認可	一般土木建設業 建設業許可番号：広島県知事許可(般-4)第31692号

## (2) サステナビリティ

借入人は、国連が提唱する「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の理念に賛同し、17項目の持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて積極的に活動している。



# 美建工業株式会社 SDGs宣言

← 〆・〆・〆 →

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、積極的な取組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2021年7月9日  
美建工業株式会社  
代表取締役 高田 浩平

## ← 〆・〆・〆 当社のSDGsへの貢献 〆・〆・〆 →

### 美しい社会環境の建設に貢献する

建材製品の製造販売という本業を通じて「美しい社会環境の建設に貢献し世の中を幸せにする」ことを目指し、お客様の期待に応える製品・サービスをお届けしてまいります。

【主な取組み】

- ・ISO9001認証取得と継続的改善の徹底によるお客様の求める品質を十二分に備えた製品提供の実践
- ・顧客第一主義の技術革新実現に向けた先端技術積極導入
- ・地域・環境に適した製品提供によるイワ設備整備・補修



### 全社員の幸せと自己研鑽を支える

働き方改革と健康経営の推進、人材育成の強化により、従業員がメリハリある充実した人生を実現できる企業を目指します。

【主な取組み】

- ・各事業所のトップの意識改革と制度整備による働き方改革推進
- ・毎月支給の資格手当制度による自己研鑽支援
- ・ひろしま企業健康宣言の実施と健康診断結果に応じた保健指導の徹底



### 環境負荷の低減

省エネ・省資源への取組み強化や、リサイクルの推進により、事業活動を通じた環境負荷を低減し、循環型社会の実現に貢献してまいります。

【主な取組み】

- ・資源の循環的利用・廃棄物削減に向けた広島県登録リサイクル製品(インターロッキングブロック)の製造
- ・太陽光発電設備導入による再生可能エネルギーの活用



### 地域社会への貢献と感謝

地域社会への感謝を忘れず、地域経済活性化に繋がる取組みや社会貢献活動を実施し、住み続けられる地域づくりに貢献してまいります。

【主な取組み】

- ・地元人材の積極採用
- ・地元産の原材料の積極活用
- ・地域の学校への寄付





**SDGsとは**

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略。持続可能な社会をつくるために、世界が抱える問題を17の目標と169のターゲットに整理したもの(2015年9月に国連で採択)。2030年までに、政府、企業、地域社会のあらゆる人が、SDGsを実現するための役割を担っている。



(資料) 借入人提供



また借入人は、気候変動への対応に一層の実効性を持たせるため、2030年までの温室効果ガス排出削減目標を設定し、2024年11月にSBT※1認定を取得している。SBT認定では、2021年の温室効果ガス排出実績値を基準として、2030年までにScope 1及びScope 2で42%の排出削減、Scope 3で25%の排出削減をそれぞれ目標値として設定し、コンクリート資材関連の温室効果ガス排出削減に取り組んでいる。

※1 SBT (Science Based Targets) とは、2015年にCOP21で採択されたパリ協定が求める水準と整合した、企業が設定する温室効果ガス排出削減目標のことで、CDP、UNGC (国連グローバルコンパクト)、WRI (世界資源研究所)、WWF (世界自然保護基金) の4つの機関が共同で事務局を務めるSBTiが運営している。

### 【2030年までの温室効果ガス排出削減目標 (SBT認定取得)】

- ・Scope1およびScope2

**▲42%**

(2021年基準 総排出量ベース)
- ・Scope3

**▲25%**

(2021年基準 総排出量ベース)

### 【2022年の温室効果ガス排出実績とSBT目標に対する進捗】 (コンクリート関連資材関連の温室効果ガス算定表(CO2)年度推移)

排出量発生源

※削減率：基準年 (2021年度)

スコープ	カテゴリー	基準年 (2021年度)	2022年度		2023年度		
			CO2量 (t)	削減率 (%)	CO2量 (t)	削減率 (%)	
Scope 1 海外含		4,991.71	5,205.51	4.28%	4,715.97	-5.52%	
Scope 2		1,405.63	1,433.13	1.96%	1,412.57	0.49%	
Scope 3		100,757.04	97,986.17	-2.75%	88,406.02	-12.26%	
	Category 1	購入した製品・サービス	89,976.97	88,326.74	-1.83%	79,791.69	-11.32%
	Category 2	資本財	749.55	722.71	-3.58%	652.32	-12.97%
	Category 3	エネルギー関連活動	1,396.43	1,426.46	2.15%	1,337.32	-4.23%
	Category 4	輸送、配送 (上流)	4,136.57	3,300.06	-20.22%	2,929.04	-29.19%
	Category 5	事業から出る廃棄物	877.44	977.98	11.46%	834.62	-4.88%
	Category 7	雇用者の通勤	720.00	623.50	-13.40%	602.12	-16.37%
	Category 8	リース資産 (上流)	0.00	0.00	0.00%	0.00	0.00%
	Category 9	輸送、配送 (下流)	1,149.56	880.61	-23.40%	850.64	-26.00%
	Category 10	販売した製品の加工	122.24	122.43	0.16%	103.03	-15.71%
Category 11	販売した製品の使用	0.00	0.00	0.00%	0.00	0.00%	
Category 12	販売した製品の廃棄	1,628.28	1,605.68	-1.39%	1,305.24	-19.84%	
Category 16	その他	0.00	0.00	0.00%	0.00	0.00%	
総計	Scope 1+2+3	107,154.38	104,624.81	-2.36%	94,534.56	-11.78%	

(資料) 借入人ホームページより抜粋



## 2. 目標の選定

### (1) 目標の概要

借入人は目標として、「温室効果ガス排出量」を選定した。

温室効果ガス排出量とは、ここでは借入人の事業活動に関連したコンクリート資材関連の温室効果ガスの排出量のことをいう。

### (2) 目標の重要性

本目標は、2020年以降の温室効果ガス排出削減等の国際的な枠組みを定めたパリ協定や、「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」において「2030年度における我が国の温室効果ガスの排出を、2013年度比で46%削減を目指し、さらに50%の高みに向けて挑戦を続ける」とする我が国の政策目標に貢献するものであり、借入人のサステナビリティ経営に重要な意味を持つ。

### (3) 経営方針と目標の関係

借入人は、気候変動への対応に一層の実効性を持たせるため、2030年までの温室効果ガス排出削減目標を設定し、SBT認定を取得のうえ、コンクリート資材に関わる排出削減に取り組んでいる。こうした取組を踏まえると、本目標は借入人のサステナビリティ経営に合致したものであるといえる。

### (4) 目標の有意義性

気候変動問題は、継続的な温室効果ガスの排出により、人々や生態系にとって深刻で広範囲にわたる不可逆的な影響を生じる可能性が高まるといわれている。

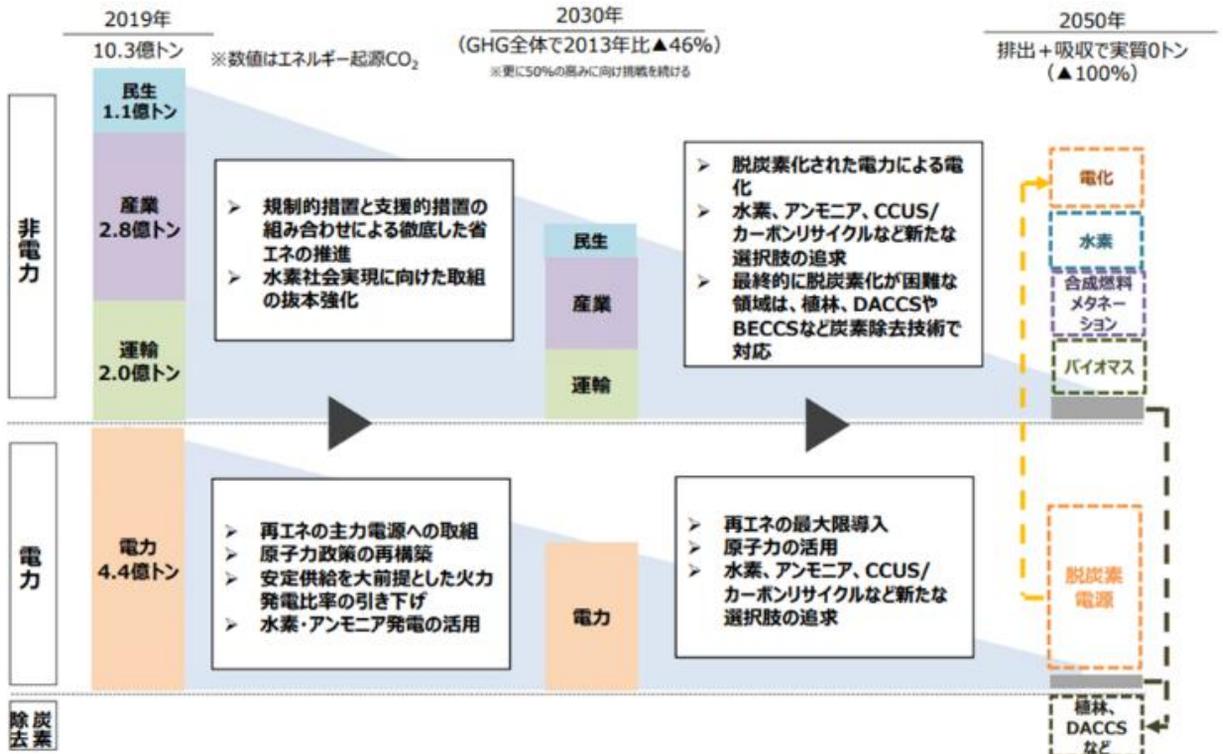
この問題に対処するため、国際的には2015年のCOP21においてパリ協定が採択され、世界共通の長期気温目標として、世界の平均気温の上昇を産業革命以前と比較して2℃より十分低く保ち、1.5℃以内に抑えることや、その目標を達成するため今世紀後半の温室効果ガスの人為的な排出と吸収を均衡することが言及された。

我が国においては、2020年10月の臨時国会において、「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言され、さらに2021年4月の地球温暖化対策推進本部において、「2030年度において、温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指し、さらに50%の高みに向けて挑戦を続ける」こととされている。しかしながら、これらの削減目標の実現は決して容易なものでなく、すべての社会経済活動において脱炭素を主要課題の一つとして位置づけ、持続可能で強靱な社会経済システムへの転換を進めることが不可欠であるとして、2021年10月に「地球温暖化対策計画」が閣議決定され、この計画の中で2030年度におけるガス別その他の区分ごとの目標・目安が定められている（次頁参照）。

以上のことから、借入人が設定した本目標は、地球温暖化における脱炭素に向けた国内外の政策及び企業の動向に合致するものであり、有意義なものであるといえる。



## 【温室効果ガスの削減目標】



(資料) 経済産業省「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略(概要資料)」より抜粋

温室効果ガス排出量・吸収量 (単位: 億t-CO <sub>2</sub> )		2013排出実績	2030排出量	削減率	従来目標
		<b>14.08</b>	<b>7.60</b>	<b>▲46%</b>	<b>▲26%</b>
エネルギー起源CO <sub>2</sub>		12.35	6.77	▲45%	▲25%
部門別	産業	4.63	2.89	▲38%	▲7%
	業務その他	2.38	1.16	▲51%	▲40%
	家庭	2.08	0.70	▲66%	▲39%
	運輸	2.24	1.46	▲35%	▲27%
	エネルギー転換	1.06	0.56	▲47%	▲27%
非エネルギー起源CO <sub>2</sub> 、メタン、N <sub>2</sub> O		1.34	1.15	▲14%	▲8%
HFC等4ガス(フロン類)		0.39	0.22	▲44%	▲25%
吸収源		-	▲0.48	-	(▲0.37億t-CO <sub>2</sub> )
二国間クレジット制度(JCM)		官民連携で2030年度までの累積で1億t-CO <sub>2</sub> 程度の国際的な排出削減・吸収量を目指す。我が国として獲得したクレジットを我が国のNDC達成のために適切にカウントする。			-

(資料) 令和3年10月22日閣議決定「地球温暖化対策計画 概要」より抜粋



### 3. 目標値の設定

本ローンの目標値の設定については、以下の（１）から（３）の観点より適切な内容で設定されていると評価する。

#### （１）目標値の概要

借入人は、目標として設定した「温室効果ガス排出量」について、SBT目標と整合させる形で、2026年8月期から2029年8月期にかけて下表のとおり目標値を設定した。

#### 【借入人の目標値】

本目標値の対象

	2022年 8月期実績	2023年 8月期実績	2024年 8月期実績	2025年 8月期見通し	2026年 8月期	2027年 8月期	2028年 8月期	2029年 8月期	<参考> 2030年 8月期	<参考> 2031年 8月期
温室効果ガス 排出量(t) Scope1・2	6,397	6,639	6,129	6,013	5,630	5,246	4,862	4,478	4,094	3,710

#### （２）目標値の妥当性

借入人は、温室効果ガス排出量を2030年までに2021年度比で42%削減する目標を掲げてSBT認定を取得し、SBT目標に整合させる形で目標値を設定している。

以上より、本目標値は国際基準に合致する目標設定であることから、十分に挑戦的であるといえる。

#### （３）目標値の適切性

目標値の適切性については、第三者機関であるひろぎんエリアデザインから評価書を取得している。

借入人は、前述の「1. 借入人とサステナビリティ」、「2. 目標の選定」、「3. 目標値の設定」に関して、自らの対応について客観的な評価が必要と判断し、ひろぎんエリアデザインによるレビュー及び目標値として設定する指標の検証を依頼した。

当該依頼を受け、ひろぎんエリアデザインは、地域特性や業種特性を踏まえて借入人が独自に設定した評価基準について確認の上、評価書を作成した。貸付人も、ひろぎんエリアデザインが評価書を作成することを承諾している。ひろぎんエリアデザインの評価書は貸付人に提供される。



## ひろぎんエリアデザイン 会社概要

社名 ひろぎんエリアデザイン株式会社

代表者 代表取締役社長 松内 紀子

所在地 〒730-0031  
広島県広島市中区紙屋町1丁目3-8

設立 2021年4月1日

資本金 1億円

株主 株式会社ひろぎんホールディングス

TEL 082-504-3016



## 留意事項

### 1. ひろぎんエリアデザインの評価について

本文書については、貸付人が借入人に対して実施する〈ひろぎん〉SXネクストローンについて、設定する目標の妥当性に対する評価を述べたものです。

その内容は、入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

ひろぎんエリアデザインは、当文書のあらゆる使用から生じる直接的・間接的損失や派生的損害については、一切責任を負いません。

### 2. 貸付人との関係性、独立性

ひろぎんエリアデザインは、ひろぎんグループに属しており、貸付人及びひろぎんグループ企業との間、及びひろぎんグループのお客さま相互の間における利益相反のおそれのある取引等に関して、法令等に従い、お客さまの利益が不当に害されることのないように、適切に業務を遂行いたします。

また、本文書にかかる調査、分析、コンサルティング業務は、貸付人とは独立して行われるものであり、貸付人からの融資に関する助言を構成するものでも、資金調達を保証するものでもありません。

### 3. ひろぎんエリアデザインの第三者性

借入人とひろぎんエリアデザインとの間に利益相反が生じるような、資本関係、人的関係等の特別な利害関係はございません。

### 4. 本文書の著作権

本文書に関する一切の権利は、ひろぎんエリアデザインが保有しています。本文書の全部または一部を、自己使用の目的を超えて、複製、改変、翻訳、頒布等を行うことは禁止されています。